

坂下南小・東小5年生

総合的な学習

一年間の米づくり



5月29日、坂下南小は船窪有志の会、坂下東小は斎藤善平さんのご指導のもと、田植えを行いました。当日は天候にも恵まれ、五月晴れの中での田植えとなりましたが、裸足で田んぼの中に入った児童からは「冷たい!」といった声が上がりました。低い姿勢でまっすぐに稲を植えるのは想像以上に大変だったようですが、夢中になって作業をしていました。

〈写真〉坂下東小

田植えから約半年が経った10月には、稲刈りをしました。稲刈りでは、鎌で稲を刈ったあと、乾燥させるために束ねる作業を行いました。鎌の扱いにも慣れ、手際よくどんどん稲を刈っていき、最後は大事なお米を無駄にしないようにと取りこぼした稲穂を丁寧に拾いました。

〈写真〉

右・坂下南小、左・坂下東小

稲刈りをし、稲を乾燥させた後は、稲穂からお米を取る脱穀と、脱穀したお米から粃殻を取り玄米にする粃すりを、各工程に分かれて協力しながら行いました。粃すりによりお米が粃殻のついた状態からきれいな玄米に変わると多くの児童が身を乗り出して見たり、触ったりして、収穫の喜びを感じているようでした。

〈写真〉坂下南小

11月には、収穫したお米をおにぎりにし、味噌汁などと一緒にご利用までお世話になった指導者の方々にふるまうおにぎりパーティーが両校で開かれました。どちらの学校でも、米そのもののおいしさを感じられるよう味つけはシンプルにされ、児童は大きなおにぎりを口いっぱい頬張っていました。

〈写真〉

右・坂下南小、左・坂下東小

お米に教えてもらったこと

普段当たり前のように食べているお米はどんなふうにするのか？白米になる前はどんな姿をしているのか？実際に目で見たり、体験したりしたことで、お米についての知識がさらに深まったようです。1年間の米づくり体験を通しての感想などを、各校の代表の児童と代表の先生にお聞きしました。

坂下南小学校

ぼくは、米作りの体験を通して、一つ一つ手作業で行うと、とても大変だということが分かりました。また、色々な道具も使われていて、とても興味深いと思いました。何より、おいしいお米が出来てとてもよかったです。



さとう こうすけ
佐藤 晃輔くん

私は、手で田植えをして、昔の人は手でやっていたことが大変だと思いました。稲刈りはとてもむずかしかったです。おにぎりパーティーはとても楽しかったです、みんなで作ったおみそ汁やご飯もおいしかったです。



さとう すず
佐藤 鈴さん

「おいしいお米作りをしよう。」という目標のもと、船窪有志会の方々にご指導頂きながら米作り体験活動を行いました。活動の目的は、「1年間を通じた米作りの農業体験を通して、社会科との関連学習として、米作りの1年間を理解すること」と、「坂下町の米作りについて、作る人の工夫や苦勞について知る」ことです。種もみまきから始まり、田植え、稲刈り、脱穀、おにぎりパーティーなどを通して、子ども達は米作りの大変さや苦勞を体で感じることができました。また、活動の中で、戦争のころの様子を聞かせてもらうなど日頃の学習では学べないこともたくさん学習させていただきました。これからも数多くの活動を通して、心豊かな子どもに育ってほしいと思います。



5 学年担任
さわさき あつこ
澤崎 敦子先生

昔の人は、田植えや稲刈りを、よく全部手作業で行えたなと思いました。ちょっとなのに、実際に体験すると、とてもつかれたからです。難しいなあとも思いました。今は機械化されて、便利でよかったです。



さい まさき
齋藤 正希くん

今年の米作り体験は、幼稚園の時より上手にできました。教えてくれた齋藤善平さんの言うことを守ったからだと思います。お米作りの苦勞も少し分かったので、これからは、ご飯を残さず食べたいと思います。



わたなべ すずは
渡部 涼羽さん

昔から日本人に愛されてきたお米ですが、多くの子どもたちにとっては、当たり前のようにあるものではないかもしれません。そこで、本校では、「米作りを体験しよう」という学習を位置づけています。田植えからおにぎりになるまで、お米の旅を学習しようというものです。子どもたちは、苗を植えて、刈り取って、脱穀、籾すりまでをこなしました。塩味だけなのに、とてもおいしいおにぎりを食べて、お米の大切さを感じてくれたと思います。

坂下東小学校



5 学年担任
いとう おさむ
伊藤 治先生

児童・高齢者・障がい者虐待は 私たちの身近で起こりうる問題です

児童虐待とは




身体的虐待
殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせるなど

性的虐待
子どもへの性的嫌がらせなど

ネグレクト
家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かないなど

心理的虐待
言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い など

高齢者虐待とは




身体的虐待
殴る、蹴る、叩く、また意思に反して身体を拘束された場合など

経済的虐待
本人の合意なしに財産や金銭を使用し、本人が希望する金銭の使用を制限する など

心理的虐待
言葉による脅し、無視、嫌がらせによって精神的な苦痛を与える など

介護・世話の放棄・放任
治療を受けさせない、必要な介護サービスの利用を妨げる、世話をしない など

障がい者虐待とは



5種類に分類

- ①身体的虐待
- ②性的虐待
- ③心理的虐待
- ④放棄や放置
- ⑤経済的虐待

養護者による虐待
身の回りの世話や金銭の管理をしている家族や親族又は同居人等による虐待

障がい者福祉施設従事者等による虐待
施設やサービス事業所で働いている職員による虐待

使用者による虐待
障がい者を雇用している事業主による虐待

虐待をなくすために私たちが出来ること

児童・高齢者・障がい者の虐待は誰の身近にも起こりうる問題であり、それを防ぐために地域のみなさん一人ひとりの気づきや声かけなどの見守りが大切です。

「このままでは虐待になってしまうかも・・・」のように「虐待のおそれ」があると思った段階で、相談窓口へお知らせください。この時「虐待である」という証拠は必要ありません。

なお、ご連絡をいただいた方のお名前が相手方に伝わることはありません。誰からのお知らせや相談かわからないように対応を始めます。

虐待に関する相談窓口

【児童・高齢者・障がい者】 生活課 福祉健康班 社会福祉係 ☎ 8 4 - 1 5 2 2

【児童】 会津児童相談所 ☎ 2 3 - 1 4 0 0 ※全国共通3桁ダイヤル「1 8 9」

【高齢者】 地域包括支援センター ☎ 8 4 - 2 7 0 0

除雪事業へのご協力をお願いします

地域や家庭にとって重要な雪道を守るため、マナーを守りましょう。

15cm以上の積雪があった場合には、除雪作業を行います。

今年も降雪の季節がやってきました。町では、通勤通学などの道路交通の安全確保のため、除雪に取り組んでいます。除雪の効果をさらに上げるため、町民のみなさまには下記のご協力をお願いします。

①玄関先の除雪にご協力を

道路を除雪した後は、玄関先や車庫前を塞いでしまうことがあります。各家庭で片付けてくださるようお願いします。また、一人暮らし・高齢者世帯などの玄関先は、地域で声をかけあって除雪のご協力をお願いします。

②路上駐車はやめましょう

1台でも放置車があると、除雪車が作業することができません。たった1台の放置車で地域全体の迷惑となりますので、絶対に路上駐車はやめてください。

③車道へ雪を出さないでください

除雪後に住宅や駐車場から再び雪が押し出されていることがあります。このような行為は、事故や渋滞の原因となりますので、車道へ雪を出さないようにしてください。

④問い合わせは行政区単位でお願いします

電話での問い合わせが多くなると、現場での対応が遅れます。効率の良い現場処理ができるよう行政区内で取りまとめてから、必ず区長・自治会長を通して下記まで問い合わせください。

⑤町での除雪が難しい箇所の除雪にご協力をお願いします

消火栓・防火水槽周りや除雪機で除雪困難な歩車道などの除雪については、周辺に住む方や行政区などで除雪のご協力をお願いします。

⑥側溝に大量の雪を捨てないでください

片付けた雪を大量に側溝や用水路に捨てると、下流で雪が詰まり、道路や家屋が浸水します。大量の雪を側溝に流さないでください。

⑦除雪作業車には絶対に近づかないでください

除雪作業車に近づくのは、事故などの恐れがあり大変危険です。除雪中は作業している車に絶対に近づかないでください。また、除雪作業している方や委託業者へ直接問い合わせるのは、除雪作業の遅れにつながりますので、お控えください。

除雪に関するお問い合わせは、区長・自治会長を通じて下記までお願いします。

【問い合わせ先】 建設課 都市土木班 ☎ 8 4 - 1 5 0 6 (FAX 8 3 - 1 3 6 5)

メール : kensetsu_doboku@town.aizubange.fukushima.jp

男女共同参画社会の実現を目指して！ ～会津坂下町の頑張ってる人にインタビュー～

「男女平等」がうたわれながらも、まだまだ世間では「男性社会」「女性社会」が多く見受けられます。そのような中で、今回、お話を伺ったのは、仕事や家事・子育てに日々奮闘している赤城タクシー唯一の女性ドライバーである佐藤沙織さん。佐藤さんは職場で主に介護タクシーを担当しており、また、3人の子ども（中学生・小学生2名）のお母さんでもあります。インタビュアーは、男女共同参画推進会議委員の平野澄子さんです。

平野「タクシーの運転手になったきっかけは何ですか？」

佐藤「介護二級の資格を持っていたので、会社で初めての介護タクシーの運転手になりました。」

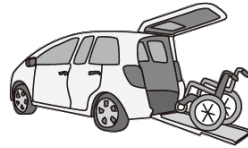
平野「仕事で大変なこと、また良かったことはありますか。」

佐藤「最初、女性運転手ということで『信用できない』と乗車を拒否されたことがあり半年間悩みました。また、現在でも配車を担当する時の時間計算が難しく大変です。良かったことは、お客様からたくさんの事を教えてもらえることです。

戦中戦後の体験談やおばあちゃんの知恵袋などです。」

平野「職場のことを教えてもらえますか。」

佐藤「平成18年に入社してから、第2子第3子と出産したのですが、会社で初めて産休と育休を取らせてもらいました。子どもを連れて来ると社長が面倒をみてくれたり、同僚には、子育ての悩みを聞いてもらいアドバイスをもらったりと本当に良くしてもらっています。」



平野「仕事で感じたり心がけていることを教えてください。」

佐藤「介護する家族だけで抱えこまず、周囲に相談することが大事だと思います。私も、利用者様や家族の方の悩みや不安を少しでも軽くしたいと思い、健康状態をお聞きして一緒に考えています。また、常にお客様の笑顔を大切にすることを心がけています。」

平野「ありがとうございました。これからも頑張ってください。」

佐藤「ありがとうございました。」

明るく、元気に前向きに仕事に取り組む佐藤さんを支えているのは、家族と子育てに理解のある社長や同僚の方達のあたたかい協力でした。

《男女共同川柳入選作品発表 ～佳作～ みなさん、ご応募ありがとうございました！》

◎一般の部	こわいけど 親父も子育て 頑張るよ	しゅん	20代男性
	横座にも 嫁が座れる 時代(とき)となり	一耕	90代男性
	会話して 夫婦の良さを 再確認	けんちゃん	60代男性
◎学生の部	お互いに 手を出しあって 助けあう	原 雄一	坂下高校
	さあ目指そう 男女共同 まちづくり	高橋 希羽	坂下中学校
	母の日に 父が荒らすぞ 台所	星 歩夢	坂下中学校
	「男なら」「女だから」に 不快感	渡辺 一希	坂下中学校
	いばってた 大黒柱が 主夫になる	日下 杏美	会津農林高校
◎ファミリーの部	母が作り 父がかたづけ 役割分担	松本 拓真	坂下東小学校
	本日は キッチン貸し切り 父と兄	小池 彩乃	坂下東小学校
	ピカピカだ パパがあらった うんどうぐつ	桑原 未羽	坂下南小学校
	「うわぁおいしい」 母の一言 父腕みがく	城郷奈雄子	坂下南小学校
	人と人 笑顔がつなく まちづくり	宮本祥汰郎	坂下南小学校



消えたエイの食習

東北地方の伝統的な料理の食材の一つにエイがあります。

エイは小骨が多く、料理するまでに手間がかかり腐りも早いので、海から離れた内陸部では主に乾物で売られています。近年は冷凍技術が発達したことや流通事情が良くなったことで、生でも売られるようになりました。



「エイ」とは海中に生息する軟骨魚類のうち、エラが体の下側にあるものの総称です。

一般に利用価値のない魚、魚のカスの意味で「カスベ」と呼ばれ、漁村では、腐らないうちに食べられる

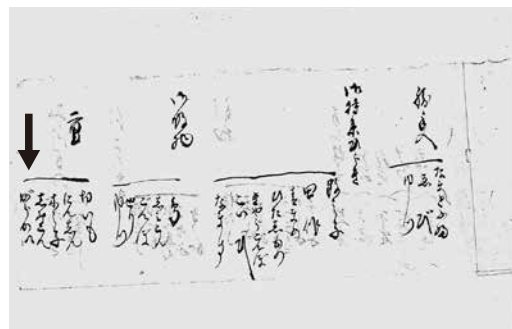
ことから分け魚（売れずに、漁村内で分けてしまう魚）として食べられることの多い魚ですが、東北地方の内陸部を中心に盆や正月、祭りの料理の食材として「カスベ」や「カラカイ」の名で乾燥したものが売られています。「カスベ祭り」と呼ばれる大きな祭りが行われるところもあり、福島県でも県南の白河地方や山形県米沢地方ではお正月のお祝いの料理として作られています。

エイ（カスベ・カラカイ）料理
切り身のエイを甘く煮たもの。煮こごりが出来る。現在、会津地方では同じ料理法の食材に鮫や銀鱈が使われているようです。



坂下町をはじめ会津では名前をあまり知られず、食べた話も聞かれない馴染みのない魚ですが、八日沢の佐藤浩平家所蔵の幕末慶応二年（一八六六）の「婚礼献立」記録に

は、重の一品に平仮名で「がらかい」の名があり、数の子や田作、棒鱈と共に、この頃にはお祝いの料理の食材として利用されていたことが分かります。



佐藤浩平家所蔵の幕末の「婚礼献立」文書「重」の食材一覧の中に人参やキノコなどと一緒に「がらかい」の表記がされている。

エイを食材とする料理が何時消えてしまったのか分かりませんが、喜多方市熱塩でも喜多方市岩月の魚屋と通して入手していることから、塔寺を経由して米沢に海産物を運ぶルートのひとつであった越後街道に沿う、坂下の特色であったのかもしれません。

▼問い合わせ先

町史編さん室 ☎83-3010

五浪美術記念館より

現在『バンビィ展』を開催しています。
町内児童・生徒の作品を多数展示中です。

今回の『バンビィ展』は、開催期間中すべて観覧無料となりますので、この機会にぜひご来館ください！

※ は休館日です。

※12月21日～3月中までの間は、展示替えと冬期間のため休館となりますので、ご注意ください。

12月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

【問い合わせ先】 教育課 社会文化班 ☎83-3010

ばんげの**味**が育てる その72 おいしい楽しい**健やかライフ**



会津坂下町「ごはんコンテスト」

幼稚園児・小学生は朝ごはん、
中学生はお弁当作りにチャレンジ!!
～会津坂下町立学校給食センター～

親子料理は楽しいな! 料理大好き! 一人で料理ができるよ! 栄養バランスを考えて1食分の食事が作れるよ! 食事作りはお任せ! そんな坂下っ子を目指し、学校給食センターでは、平成24年度から朝ごはんコンテストを開催し、昨年度からはごはんコンテストとして開催しています。

ごはんコンテストは、夏休みに、幼稚園児はお家の方と一緒に朝ごはんのおかずを一品、小学校下学年児童は一人で作れるおかずを一品または朝ごはん1食分、小学校上学年児童は朝ごはん1食分、中学生はおにぎりを主食にしたお弁当を作り、応募して頂きました。(小中学校は、県主催の「ふくしまっ子ごはんコンテスト」の応募作品を活用して一次審査を実施)

応募数は、幼稚園児27点、小学生115点、中学生220点と昨年度よりも中学生の応募が増え、力作がたくさん寄せられました。9月1日に学校給食センターにおいて一次審査会を実施し、献立作成委員である各学校・幼稚園の給食主任、保護者代表の方々に審査をしていただきました。さらに、小学校上学年は10月10日に、中学生は10月3日に坂下中学校において二次審査会を開催しました。各部門の最優秀・優秀・入賞者には、教育長より賞状と記念品が授与されました。



小学校上学年二次審査会

楽しく朝ごはんを作る
小学生4～6年生5名

主食・主菜・副菜・汁物がそろった栄養バランスのよい朝ごはんを40分で作りました。朝からもりもり食べられて、元気が出る朝ごはんが出来あがりました。

中学生二次審査会

慣れた手つきで、上手にお弁当を作る中学生5名

栄養バランスや彩りを考え、旬の食材をたくさん用いたお弁当を40分で作りました。お弁当の時間が待ち遠しくなる、とってもおいしいお弁当ばかりでした。



最優秀賞

幼稚園の部



朝だけどたがおで
ぼかぼかスープ
坂下南幼稚園年長
さいとう まさと
齋藤 大翔さん

小学校下学年の部



カラフル朝ごはん
(黄、緑、赤)
坂下東小学校 3年
いまい あいか
今井 娃花さん

小学校上学年の部



暑い夏でも元気もりもり
ぼかぼかスープ
坂下東小学校 6年
くわはら のぞみ
桑原 希さん

中学校の部



夏野菜たっぷり弁当
坂下中学校 1年
すずき しょう
鈴木 翔さん

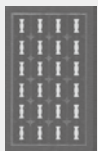
【問い合わせ先】 健康管理センター ☎ 83-1000

 **新着本の紹介** 

	本のタイトル	著者名	出版社
◇一般書	『会津に伝わるむかし話；民話伝説集』	逢瀬紀孝／著	歴史春秋社
◇一般書	『インドクリスタル』	篠田節子／著	KADOKAWA
◇一般書	『掟上今日子の遺言書』	西尾維新／著	講談社
◇一般書	『水鏡推理』（講談社文庫）	松岡圭祐／著	講談社
◇児童書	『なぞなぞようかい（3人のまじょとドラゴン；4）』	おおともやすお／作・絵	偕成社
◇児童書	『じごくのクイズショー（ゆうれいたんていドロヒュー；4）』	やまもとしょうぞう／作・絵	フレーベル館
◇児童書	『白い手ぶくろのひみつ（ゆうれい作家はおおいそがし；4）』	ケイト・クライス／文	ほるぷ出版

 **おすすめの新书推荐** 

〔一般書〕 『**あたしとあなた**』
谷川俊太郎／著 ナナロク社



とても素敵な詩集です。装丁も紙も、まさに日本の職人技から生れた、贅沢な1冊となっています。電子書籍では味わえない、手に取って触れて、感じてほしい本です。

〔一般書〕 『**長いお別れ**』
中島京子／著 文藝春秋



認知症を患い、記憶を少しずつ失っていく父が日々起こす不測の事態に右往左往しながら、愛おしく、大切な時間に込められた家族の思いがあふれている物語です。

〔一般書〕 『**チェルノブイリの祈り：未来の物語**』（岩波現代文庫）
スベトラーナ・アレクシエービッチ／著 岩波書店



原発事故に遭遇した人々の悲しみと衝撃を伝える、「ドキュメンタリー文学の最高の傑作」と言われた、2015年ノーベル文学賞を受賞した著者の本です。

〔児童書〕 『**紫式部：学研まんが NEW 日本の伝記**』
谷口孝介／監修 学研教育出版



古典の名作『源氏物語』の作者と考えられている紫式部が宮廷社会をしなやかに生き抜く姿が描かれています。貴族文化が花開いた平安時代を知ることができます。

〔ヤングアダルト〕 『**医者をめざす君へ**』
山田倫太郎／著 東洋経済新報社



難病と闘う倫太郎君が、「お兄ちゃんの病気を治すお医者さんになりたい」という弟を励ますために書いた「患者が望む理想の医者8カ条」を中心にまとめられています。

〔絵本〕 『**パンどうぞ**』
彦坂有紀、もりといずみ／作 講談社

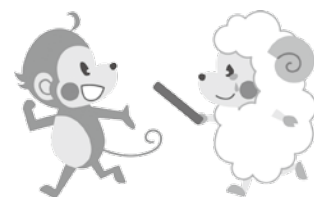


ロールパン、ジャムパン、クリームパン、どのパンが好きかな？「ぱくっ」とひとくち食べてみよう。おいしそうな絵本の中のパンに、思わず手が伸びてしまいそうですよ。

☆**年末年始休館のお知らせ**☆
12月29日(火)～1月3日(日)

上記期間は年末年始のため休館とさせていただきます。なお、1月4日(月)から通常開館となります。

※上記期間中は事務室の返却箱も利用できません。ご不便をおかけしますがご理解とご協力をお願いします。



図書室利用時間のご案内

開館時間 午前8時30分～午後5時
木曜日のみ午前8時30分～午後7時
(毎月第2火曜日は定休日)

☎ 83-3010

認知症サポーター養成講座を受けてみませんか

町では、「地域 みんなが支え合う長寿社会」の実現に向け、認知症サポーター養成講座を実施しています。

現在、全国における認知症の人は、平成24年で462万人（高齢者の約7人に1人）となっており、誰もが関わる可能性がある身近なものになっています。

このため、全国で認知症サポーター養成講座をはじめとした、認知症への理解を深めるための普及・啓発が推進されています。

▼認知症サポーターとは

認知症の人や家族を温かく見守る応援者として、自分の出来る範囲で活動します。

例えば、日常生活で、認知症の人と接したり、一緒に活動する時などに、正しく相手の気持ちを理解しながら、できない部分を助けてあげたり、話に耳を傾けることも大切なサポーターの活動です。

▼認知症サポーターになるには

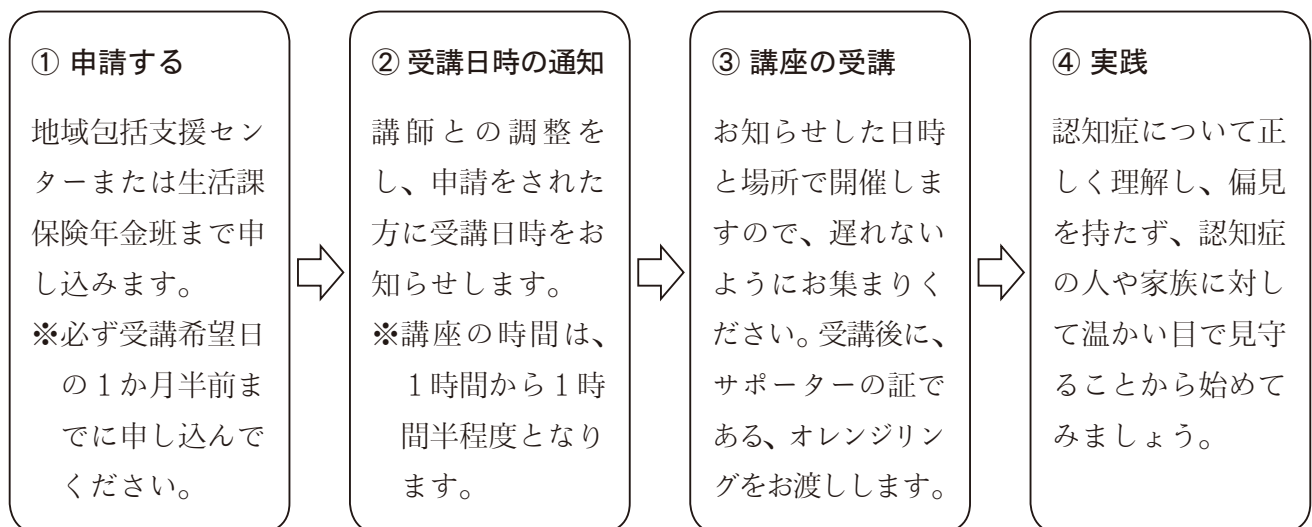
地域包括支援センターまたは、生活課保険年金班まで受講を希望される日の、おおよそ1か月半前までにご連絡ください。認知症サポーターを養成できる講師と調整のうえ日程を決定させていただきます。

受講人数は、少人数のグループから受け付けることができますので、お気軽にお問い合わせください。



【認知症サポーターの証「オレンジリング」】

▼申請の手順



【問い合わせ先】 生活課 保険年金班 ☎ 84-1513
地域包括支援センター ☎ 84-2700